

# 出資法人等経営状況報告書

## 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和元年 8 月 26 日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	---------------	------	-----------------

※以下は平成 31 年 3 月 31 日現在の内容です。

## 2 法人等の概要

法人等名称	Jーホールディングス 株式会社				
代表者名	代表取締役 早川 寿男				
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市西本町四丁目 18 番 12 号				
設立年月日	平成 25 年 9 月 3 日	資本金	100,000 千円	市出資割合	80.2%
設立目的	次の事業を営む会社の株式又は持分を所有することにより、当該会社の事業活動を支配又は管理すること及びこれに付帯又は関連する事業を営むことを目的とする。 1 温浴施設、宿泊施設、スキー場施設その他附帯施設の経営及び管理運営に関する業務 2 物品、特産品等の製造及び販売並びに委託販売に関する業務 3 各種イベント、事業及び物品の企画立案、広告宣伝並びに調査研究に関する業務 4 不動産の売買、賃貸借管理及びその仲介に関する業務 5 保険代理業 6 旅行業・旅行代理業 7 上越市からの受託事業に関する業務 8 その他付帯関連する一切の業務				

## 3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	1	—	1	1			
	非常勤	7	2	9				9
	計	8	2	10	1			9
職員	正職員	—	—	5	5			
	臨時職員	—	—	4	4			
	パート職員等	—	—	1	1			
	計	—	—	10	10			

## 4 主な事業

(1) 事業会社（7社）の経営管理及び経営指導
(2) 上越妙高駅 SAKURA プラザ内の軽飲食店（えちご食処 7つのおもてなし）の運営
(3)
(4)
(5)

## 5 事業実績（概要）

### 【第6期（平成30年度）の経営状況】

- ・ 第6期の営業収益（売上高）は、前期との比較で、1,722千円増（3.4%の増）の52,956千円となりました。上越妙高駅「えちご食処 7つのおもてなし」（通称：7つ屋）の営業収益（売上高）はほぼ前年並みとなった一方、グループ会社共通利用券の手数料収入が増加したことにより、全体としての営業収益（売上高）が増加しました。
- ・ 営業費用は、7つ屋の原価率が改善したことや、経費削減に取り組んだことにより、前期との比較で3,206千円減（4.7%の減）の65,349千円となりました。
- ・ この結果、第6期の当期純利益は△11,755千円となり、平成30年3月末の累積欠損金は70,816千円となりました。

### 【第6期の主な取組内容】

- ・ 第6期は、事業会社に対し、経営改善に繋がる取組の提案を行い、施設運営の見直しによる事業会社の経費の削減などに努めました。
- ・ 営業面では、上越市ホームページのバナー広告や情報紙への広告掲載、宴会パンフレット等の配布に取り組んだほか、市内事業者にJHDグループ会社共通利用券を23,000枚販売し、額面にして11,500千円分を売り上げました。

（以下、主な取組項目とその内容）

取組項目	主な内容
さらなる品質アップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各社のスキルアップを狙いとしたグループ内における料理・イベント・総合の各部門コンテストの実施</li> <li>・ 各事業会社におけるスタッフミーティング及びグループ内における人事交流の実施</li> </ul>
営業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内事業者等への忘新年会プランや歓送迎会プランなどの営業活動</li> <li>・ 県外エージェントに対する営業活動</li> </ul>
施設運営の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営の効率化に向けた営業時間等の見直しを検討</li> </ul>

### 【第6期の部門別実績】

（単位：千円）

部門名	区分	第4期 （平成28年度）	第5期 （平成29年度）	第6期 （平成30年度）
本社	売上高	8,057	2,067	3,907
	営業利益	△13,724	△18,693	△14,324
7つ屋	売上高	49,165	49,167	49,048
	営業利益	858	1,371	1,931
合計（※）	売上高	57,223	51,234	52,956
	営業利益	△12,866	△17,321	△12,393

※ 端数処理の都合上、合計額が合致しない場合があります。

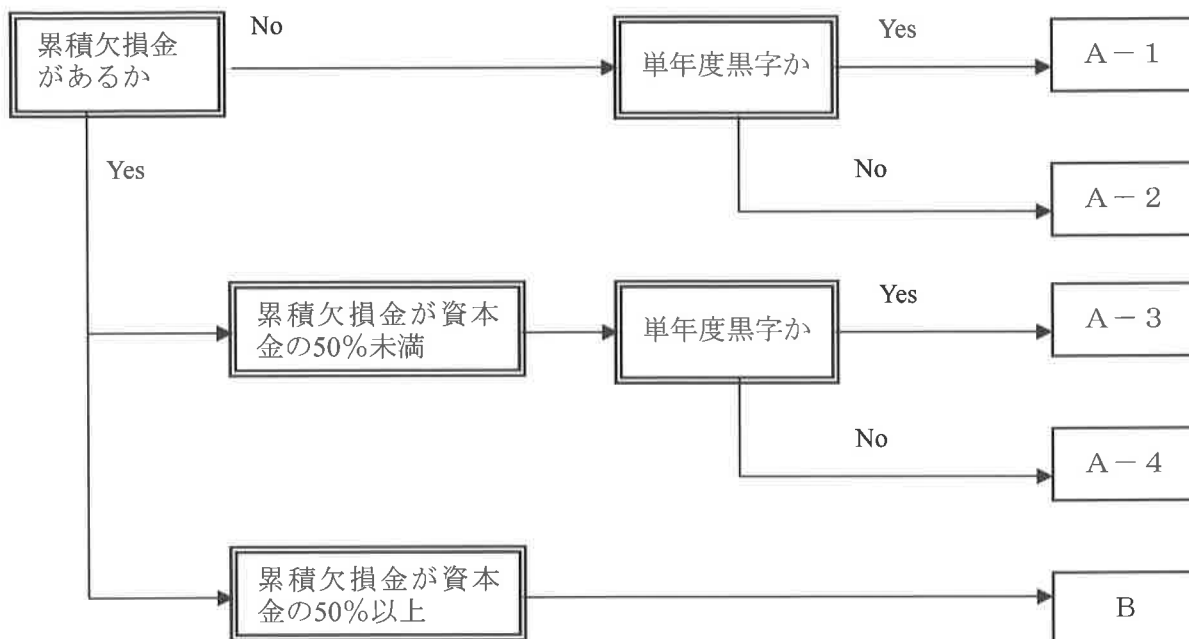
## 6 財務状況

(単位:千円)

項 目		第4期	第5期	第6期	備考
		自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	
損益計算書	営業収益(売上高)	57,223	51,234	52,956	
	営業費用	70,089	68,555	65,349	
	売上原価	20,675	19,558	18,153	
	一般管理費・販売費	49,414	48,997	47,196	
	営業利益	△12,866	△17,321	△12,393	
	営業外収益	1,082	1,608	928	
	営業外費用	28	16	0	
	経常利益	△11,812	△15,729	△11,465	
	特別利益	0	0	0	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期純利益	△11,812	△15,729	△11,465	
	法人税等	290	290	290	
	当期純利益	△12,102	△16,019	△11,755	
	項 目		平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	平成31年3月31日現在
貸借対照表	資 産	368,514	358,001	348,750	
	負 債	4,369	9,875	12,379	
	純資産	364,145	348,126	336,371	
	資本金	100,000	100,000	100,000	
	剰余金・欠損金	△43,042	△59,061	△70,816	
	その他	307,187	307,187	307,187	

## 7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-4
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

同社の経営状況の予備的診断については、資本金及び資本剰余金の合計額（407,187千円）を基準に評価しております。

## 8 市の関与の状況

### (1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
①	直江津屋台会館受付・清掃業務委託	653	653	653	
②					
③					
④					
⑤					
計		653	653	653	

### (2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（出資金）	0	0	0	
計		0	0	0	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

営業収益（売上高）は 38,788 千円、経常利益を 6,176 千円と見込み、次の取組を推進していく。

○ JHDグループが目指すもの

- ・ JHDグループのスケールメリットを生かした経費の削減、ノウハウの交流を進め、グループ全体の企業価値の増大を目指す。

○ 各社のありたい姿と重点施策

- ・ 各事業会社が、ありたい姿と重点施策を明確にし、その実現に向けて取り組む。

○ 収支計画

	本社プロパー事業	7つ屋事業（※）	計
売上高	9,818	28,970	38,788
売上総利益	9,818	21,040	30,858
経費	12,352	12,530	24,882
営業利益	△2,534	8,510	5,976
経常利益	△2,534	8,710	6,176

※ 7つ屋事業は、令和元年 8 月 31 日をもって事業を譲渡する計画としており、売上高には、資産売却収入を含めています。

### (2) 中長期経営計画

あり



# J-ホールディングスグループ経営状況一覧

## 1 年度経営・財務状況

(単位：千円)

法人名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
株式会社 キューピットバレイ  (注) 各年度の事業期間 平成28年度 当年5月～翌年3月 平成29年度 当年4月～翌年3月 平成30年度 当年4月～翌年3月	売上高	477,598	499,573	501,294
	営業利益	△ 2,684	△ 17,970	△ 1,787
	当期損益	△ 58	△ 17,509	520
	資産	209,881	218,747	202,835
	負債	172,813	199,188	182,756
	純資産	37,068	19,559	20,079
柿崎総合開発 株式会社	売上高	117,940	115,331	104,918
	営業利益	△ 12,855	△ 18,526	△ 17,734
	当期損益	△ 11,292	△ 17,575	△ 15,455
	資産	101,429	84,205	68,043
	負債	8,956	9,307	8,600
	純資産	92,472	74,898	59,443
株式会社 大潟地域活性化センター	売上高	115,349	115,954	116,273
	営業利益	204	△ 278	△ 381
	当期損益	530	14	154
	資産	10,597	11,438	10,977
	負債	6,990	7,817	7,201
	純資産	3,607	3,621	3,776
株式会社 ゆったりの郷	売上高	157,344	161,347	159,056
	営業利益	△ 1,064	△ 1,580	193
	当期損益	648	118	117
	資産	48,848	50,901	51,734
	負債	14,412	16,348	17,063
	純資産	34,436	34,553	34,670
黒倉ふるさと振興 株式会社	売上高	75,066	73,272	71,802
	営業利益	△ 6,910	△ 4,175	△ 6,013
	当期損益	△ 5,662	△ 3,671	△ 6,736
	資産	30,433	26,784	20,415
	負債	4,325	4,347	4,714
	純資産	26,108	22,437	15,701
三和振興 株式会社  (注) 各年度の事業期間 平成28年度 当年2月～翌年1月 平成29年度 当年4月～翌年3月 平成30年度 当年4月～翌年3月	売上高	111,424	99,961	105,324
	営業利益	1,316	△ 7,011	△ 3,560
	当期損益	1,457	△ 6,553	△ 2,983
	資産	15,556	9,808	13,419
	負債	11,100	14,634	21,227
	純資産	4,456	△ 4,826	△ 7,808
株式会社 ゆめ企画名立  (注) 各年度の事業期間 平成28年度 前年10月～当年9月 平成29年度 当年4月～翌年3月 平成30年度 当年4月～翌年3月	売上高	590,112	580,312	590,777
	営業利益	△ 33,873	3,868	612
	当期損益	107,012	3,917	1,199
	資産	282,712	188,222	168,308
	負債	159,545	83,447	62,334
	純資産	123,167	104,775	105,974
《参考値》  事業会社7社合計	売上高	1,644,833	1,645,750	1,649,443
	営業利益	△ 55,867	△ 45,671	△ 28,671
	当期損益	92,635	△ 41,258	△ 23,183
	資産	699,455	590,105	535,731
	負債	378,142	335,087	303,896
	純資産	321,314	255,018	231,835

※ 平成29年度から各社の事業年度を、当年4月～翌年3月の12か月間に統一しました。

※ 平成28年度の合計値は、各社の事業年度が統一されていないため、参考値とします。

※ 端数処理の都合上、合計額が合致しない場合がございます。

## 2 施設の主な利用状況

(単位：人)

法人名	施設名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
株式会社 キュービットバレイ	雪だるま高原	センターハウス	118,300	117,000	118,900
		雪の湯	60,027	59,027	57,206
		久比岐野	5,887	5,059	5,006
柿崎総合開発 株式会社	柿崎マリンホテル ハマナス	宿泊	5,802	5,946	5,508
		風呂	13,637	14,412	14,413
		宴会	7,063	6,491	6,114
		レストラン	7,423	8,436	7,989
		貸室	667	817	571
株式会社 大潟地域活性化センター	大潟健康 スポーツプラザ 鵜の浜人魚館	風呂	66,707	65,412	65,245
		プール	20,051	19,894	19,807
		共通	5,551	4,933	4,583
株式会社 ゆったりの郷	吉川 ゆったりの郷	風呂	74,473	79,245	78,609
		レストラン	48,509	52,404	51,310
黒倉ふるさと振興 株式会社	板倉保養センター やすらぎ荘	宿泊	1,617	1,390	1,430
		風呂	24,261	24,511	23,254
		宴会	4,503	4,244	3,940
		貸室	1,027	835	1,016
三和振興 株式会社	三和ネイチャー リングホテル 米本陣	宿泊	4,918	4,189	5,065
		風呂	7,404	7,495	8,273
		宴会	7,981	7,373	6,920
		レストラン	2,673	2,711	2,872
株式会社 ゆめ企画名立	うみてらす名立	宿泊	10,730	11,215	11,247
		日帰り	192,215	188,144	200,718
		風呂	125,033	123,817	121,101
		レストラン	47,642	50,454	59,754

## 3 経営状況の概要

法人名	直近期の経営状況及び「ありたい姿」など
株式会社 キュービットバレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンシーズンの利用者増や、経費削減により単年度黒字を達成</li> <li>スキー発祥の地にある地域一番のスノーリゾートを目指す。</li> </ul>
柿崎総合開発 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊や宴会需要の減少等により、15,455千円の単年度赤字を計上</li> <li>地域活性化を図る観光拠点として、同業他社と連携し相互に発展する。</li> </ul>
株式会社 大潟地域活性化センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>猛暑によるプール利用者数の減少等があったが、単年度黒字を達成</li> <li>プール施設を強みと捉え、効率のよい運営を図る。</li> </ul>
株式会社 ゆったりの郷	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス向上と経費の削減に取り組み、単年度黒字を達成</li> <li>どこにも負けない愛社精神により、お客様へのもてなしを育む。</li> </ul>
黒倉ふるさと振興 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺人口の減少等に伴う利用者数の減少により収支が悪化</li> <li>憩いの場、素晴らしい里山の景観を楽しみゆったりできる宿を目指す。</li> </ul>
三和振興 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>うみがたりパックを設定したことなどにより、宿泊利用者数が増加</li> <li>お客様に安心感を持っていただき、地元上越に愛される会社を目指す。</li> </ul>
株式会社 ゆめ企画名立	<ul style="list-style-type: none"> <li>うみがたり効果により入込数や売上高が増加</li> <li>人と人の絆が織りなす、日本一の「海の食彩リゾート」を目指す。</li> </ul>



# 事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

## I. 当社の状況

市内経済は全体として回復傾向にあるものの、小規模な事業者を中心に依然景気回復を実感できない状況にあります。当社のグループ会社においても、消費者の節約志向や人口減少から売上不振が課題となっており、依然として厳しい状況が続いております。

また、雇用においては人手不足の状況がさらに強まっており、その理由としては、人口減少に加え少子高齢化による労働力人口の減少が起因しているものと捉えられ、今後の企業活動へ及ぼす影響も懸念されています。

### 1. 当社の活動

グループ会社に対し、定期的な訪問活動を通じ経営改善に結びつく取組の提案をいたしました。具体的には、個社別に現行の施設運営の見直しによる経費の削減、また仕入品目に対する原価の調査に基づき、各社の単価バラツキの是正に努めました。販管費の多くを占める電気料金については、電力自由化の流れから新電力の導入について研究をいたしました。

#### (1) 当社の活動実績

第6期は、毎月行われる経営会議を重視し、月別の報告と対策について話し合い、具体的な対策が取れるものは実施いたしました。グループ全体の広告は5回で、上越市ホームページのバナー広告・新潟日報掲載・宴会パンフレット等の配布であります。

また、昨年から取り組みを始めたグループ会社共通利用券の発行を、市内企業の3社から契約をいただき、23,000枚、額面にして11,500,000円の発行をいたしました。

#### ① さらなる品質アップ

グループ各社を対象とした料理部門・イベント部門・総合部門において、今後の経営活動に生かされることを期待し、毎年コンテストを実施しております。料理部門におい

では9点、イベント部門は26点、総合部門は5点の応募があり、それぞれ入賞作品を表彰するとともに各社のスキルアップに貢献したものと考えています。

また、これまでと同様に各社において継続したスタッフ・ミーティングを行っています。グループの人事交流については、うみてらす名立からキューピットバレイへ2月1日から22日の間1名の派遣を行いました。今後はグループ全体で人事交流ができる仕組みづくりが必要と考えています。

## ② 営業の拡大

### a. 営業力のアップ

月1回の営業会議及び経営会議を開催し、各社の営業範囲を明らかにし対策の話し合いをしました。JHDは忘新年会、歓送迎会を中心に市内事業者や福祉施設等に訪問し販売活動に努めました。

### b. 告知

共同告知は5回の広告掲載を行いました。また、各社においては、季節ごとのチラシの配布や新聞掲載を行いフェイスブックやSNSの活用も行いました。

### c. 顧客拡大

前年に引き続き、各区の各種組織団体を訪問し、個社別には地元を中心とした企業訪問、町内会、老人会等に販売活動を行いました。うみてらす名立、マリンホテルハマナスの職員による県外のエージェントへの営業を行いました。また、取引先の業者を対象とするイベントや地域の方々、地元応援隊の皆様からは、引き続きご支援ご協力をいただきました。

### d. サービスの向上

お客様アンケートに基づく改善策の実施、社員全員による情報の共有に努め、早めの対応を心がけました。

## ③ 経営改善に向けた各社施設運営の見直し検討

### キューピットバレイ

主たる施設が3か所に分散され、効率が悪く特に日帰り温泉(雪の湯)の営業利益が赤字のため、今後の在り方について検討を開始しました。

また、繁忙期にグループ会社から人員派遣を行いました。

### マリンホテルハマナス

施設稼働率の低下に対する対応、レストラン営業体系の見直しと共に、人員の適正化の検討を行いました。

### 鵜の浜人魚館

レストラン営業時間の見直し、プール部門の赤字縮小に向けたプール内施設の運転状況の確認、営業期間等の検討を行いました。

### ゆったり郷

最小限の人員で最高のサービスを目標に、社員のオールマイティ化を推進しました。

### やすらぎ荘

日帰り温浴、レストランの営業期間及び営業時間の見直しの検討を行いました。

### ホテル米本陣

日帰り温浴の営業期間の見直し検討及びレストラン営業体系の見直しによるレストランでの宴会利用の検討を行いました。

### うみてらす名立

日帰り温浴施設(ゆらら)のメニュー開発、鮮魚コーナーの営業時間の見直し、鮑養殖場の有効活用の検討を行いました。

### 上越妙高駅「えちご食処 7つのおもてなし」(通称 7つ屋)

前年 29 年度 67,506 人の客数が 30 年度 59,619 人となり 7,887 人の減少となりましたが、売上は 49,048,725 円でほぼ前年同額にすることができました。

第 6 期は、販管費の削減とメニュー英語版の作成による外国人対応を強化しました。

## 2. 当社の損益状況

- (1) 第 6 期決算の売上は、予算比 7,047 千円減の 52,956 千円、前年度比では、1,722 千円の増となりました。前年度比増の要因は、グループ会社共通利用券の取扱い収入であります。
- (2) 経費の販管費は、予算比 1,883 千円減の 47,196 千円で、前年度比 1,799 千円減少しました。
- (3) 第 6 期経常利益は、△11,465 千円、税後純利益は、△11,755 千円となりました。

### 当社損益の状況 (第 6 期)

(単位:千円)

	第 6 期実績 当社合計	同予算比	同前年度比	部門別実績 当社プロパー	同左 7つ屋
売上	52,956	△7,047	1,722	3,907	49,048
売上総利益	34,803	△7,101	3,127	3,907	30,895
経費	47,196	△1,883	△1,799	18,232	28,954
営業利益	△12,393	△5,218	4,927	△14,324	1,931
経常利益	△11,465	△4,290	4,263	△13,804	2,338

## II. グループ会社の決算状況

平成 31 年 3 月 31 日を決算期とする各社の決算は下記の通りです。

表 1 グループ会社の損益状況 (決算日:平成 31 年 3 月末) (単位:千円)

会社名	売上高	当期純利益	備考
(株) キューピットバレイ	501,293	520	
柿崎総合開発 (株)	104,917	△15,454	
(株) 大潟地域活性化センター	116,272	154	
(株) ゆったりの郷	159,056	117	
黒倉ふるさと振興 (株)	71,802	△6,736	
三和振興 (株)	105,304	△2,982	
(株) ゆめ企画名立	590,777	1,199	

### (1) 黒字会社

(株) キューピットバレイ	
(株) 大潟地域活性化センター	5 期連続
(株) ゆったりの郷	13 期連続
(株) ゆめ企画名立	4 期連続

### (2) 赤字会社

柿崎総合開発 (株)	4 期連続
三和振興 (株)	2 期連続
黒倉ふるさと振興 (株)	4 期連続

# 貸借対照表

自 平成 30年 4月 1日  
至 平成 31年 3月 31日

J-ホールディングス株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	
現金	994,058	買掛金	1,675,240
小口現金	20,000	未払金	1,821,469
普通預金	20,317,318	預り金	637,204
売掛金	1,063,169	未払法人税等	290,000
貯蔵品	2,000	仮受金	6,788,700
未収入金	1,347,945	未払消費税等	1,166,900
流動資産合計	23,744,490	流動負債合計	12,379,513
【固定資産】		負債合計	12,379,513
【有形固定資産】		純資産の部	
建物	5,033,542	【株主資本】	
機械装置	3,332,897	【資本金】	100,000,000
工具器具備品	1,069,955	【資本剰余金】	
一括減価償却資産	382,000	資本準備金	50,000,000
有形固定資産合計	9,818,394	【その他資本剰余金】	257,187,224
【投資その他資産】		資本剰余金合計	307,187,224
出資金	315,187,224	【利益剰余金】	
投資その他資産合計	315,187,224	【その他利益剰余金】	
		繰越利益剰余金	△ 70,816,629
		その他利益剰余金合計	△ 70,816,629
		利益剰余金合計	△ 70,816,629
		株主資本合計	336,370,595
固定資産合計	325,005,618	純資産合計	336,370,595
資産合計	348,750,108	負債・純資産合計	348,750,108

## 損益計算書

自 平成 30年 4月 1日  
至 平成 31年 3月 31日

J-ホールディングス株式会社

(単位：円)

勘定科目	
【売上高】	52,956,444
【売上原価】	
飲食仕入	12,804,684
その他仕入	299,384
MIJ仕入	5,049,053
合計	18,153,121
売上総利益	34,803,323
【販売費及び一般管理費】	47,196,880
営業損失	12,393,557
【営業外収益】	
受取利息	234
雑収入	927,875
【営業外費用】	
雑損失	1
経常損失	11,465,449
税引前当期純損失	11,465,449
法人税等	290,026
当期純損失	11,755,475

## 販売費及び一般管理費明細書

(単位：円)

勘定科目	
役員報酬	6,540,000
給与手当	23,291,932
通勤手当	391,498
法定福利費	4,052,382
福利厚生費	234,016
旅費交通費	393,522
通信費	405,397
広告宣伝費	494,000
接待交際費	56,627
会議費	297,788
水光熱費	2,476,336
租税公課	113,300
新聞図書費	60,368
管理諸費	849,052
支払手数料	883,035
諸会費	35,000
リース料	11,640
外注費	29,250
衛生費	138,667
地代家賃	2,596,514
保険料	125,520
修繕費	97,300
消耗品費	1,278,116
研修費	2,223
減価償却費	2,343,397
合 計	47,196,880

# 株主資本等変動計算書

自 平成 30年 4月 1日  
至 平成 31年 3月 31日

J-ホールディングス株式会社

(単位：円)

【株主資本】		
【資本金】	当期首残高及び当期末残高	100,000,000
【資本剰余金】		
資本準備金	当期首残高及び当期末残高	50,000,000
【その他資本剰余金】		
資本剰余金	当期首残高及び当期末残高	257,187,224
資本剰余金合計	当期首残高及び当期末残高	307,187,224
【利益剰余金】		
【その他利益剰余金】		
繰越利益剰余金	当期首残高	△ 59,061,154
	当期変動額 当期純損失	△ 11,755,475
	当期末残高	△ 70,816,629
利益剰余金合計	当期首残高	△ 59,061,154
	当期変動額	△ 11,755,475
	当期末残高	△ 70,816,629
株主資本合計	当期首残高	348,126,070
	当期変動額	△ 11,755,475
	当期末残高	336,370,595
純資産合計	当期首残高	348,126,070
	当期変動額	△ 11,755,475
	当期末残高	336,370,595





## 監 査 報 告 書

私ども監査役は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における業務の執行を監査するため、会計帳簿及び重要な決算書類を閲覧し、計算書類について慎重な検討を加え、その他の必要と思われる監査手続きを実施した。

1. 貸借対照表及び損益計算書は、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
2. 株主資本等変動計算書の記載については、指摘すべき事項はない。

令和元年5月30日

J-ホールディングス株式会社

監査役

萩谷賢一 

監査役

藤山作次 



## 第7期 事業計画および収支計画

### I. 事業計画

平成31年度は、グループ7社の指定管理者更新の初年度であり、上越市の第三セクター等に対する関与方針も示されたことから、より一層の経営健全化対策に取り組まなければなりません。しかしながら取り巻く環境は引き続き厳しく、高齢化の進展や既存客の減少、節約志向の強まりなど厳しい状況が予想され、さらには食材価格や電気料金の高止まり、10月に実施を予定している消費税の増税があります。

当期は、経営改善に向けた具体的な方策を実施することを目標として、市との協議を進め、経費面での削減効果が図られるよう努力いたします。また、各社経営状況の低迷から、予定していた経営指導料収入がこれまでなかったことから、当社の損益状況は極めて厳しい状況となっています。従って、飲食部門の事業譲渡を行うとともに、代表取締役報酬の52%削減（年額2,880万円）とし、持株会社本来の業務の拡大を図り、各社の間接部門の統合、仕入品目の格差の是正、人員の流動化を推進します。

#### (1) JHDグループが目指すもの

事業会社7社共通の経営目標である黒字体質の確立を実現するため、JHDグループのスケールメリットを生かした経費の削減、ノウハウの交流を進めグループ全体の企業価値の増大を目指します。

また、上越市の魅力を高めるため、各事業会社の「ありたい姿」を明確にし、その実現のための取組みを行います。

#### (2) 各社の「ありたい姿」と重点施策

##### (株)キューピットバレイ

##### 「ありたい姿」

- 1 マーケットに即応した経営改革を行い、永続的な会社運営
- 2 スキー発祥の地にある地域一番のスノーリゾート

### 重点施策

- 1 繁閑期におけるエリア施設運営の見直し
- 2 部門を超えた固定社員の流動化
- 3 ホスピタリティ(おもてなし)の向上と社員の幸せづくり

### 柿崎総合開発(株)

#### 「ありがたい姿」

- 1 地域の活性化を図る観光拠点として、同業他社と敵対する関係でなく、連携して相互に発展する。
- 2 労働条件、福利厚生等、従業員が自信を持って会社をPRできる。

### 重点施策

- 1 地元産食材を使った食事の提供と各種イベントの実施
- 2 ネットエージェント及びホームページの活用を充実
- 3 社員一人一人が営業マンとしての自覚を持ち、販売促進を行う。

### (株)大瀧地域活性化センター

#### 「ありがたい姿」

- 1 地域の宝として自慢できる施設を目指す。

### 重点施策

- 1 プール施設を強みとしてとらえ、効率のよい運営を図る。
- 2 地元温泉組合、観光協会等との連携を深め誘客増を目指す。
- 3 地域活性化を図るため、近くに建設中の「上越アリーナ(仮称)」のオープンによる交流人口の増を各種団体と協力して集客増に向けた対策を強化する

### (株)ゆったりの郷

#### 「ありがたい姿」

- 1 どこにも負けない、愛社精神  
社員の「連携・融和・愛社精神」によって、お客様へのおもてなしを育む。

### 重点施策

- 1 全体的管理運営(高齢者福祉施設としての管理運営の増進、サービス向上対策、施設の利用促進対策、地域内高齢者向け「ふれあいバス」の定期運行、施設内模様替えによる販売促進)
- 2 適切な管理運営(職員の適正配置、職員の能力開発、施設の安心安全対策)
- 3 地域活性化対策(地域との共同、地域産物の物販促進)
- 4 イベントの実施

## 黒倉ふるさと振興(株)

### 「ありがたい姿」

- 1 地元を起点とし区内、市内のお客様から、おらが施設、おらが温泉と気軽に利用いただける施設となる。
- 2 憩いの場、素晴らしい里山の景観を楽しみゆったりできる宿を目指していく。

### 重点施策

- 1 顧客に対する従業員のサービスを充実させる。
- 2 上越妙高駅に近い施設であり、里山の風景をゆっくり楽しんでいただける PR をホームページで発信する。
- 3 無駄な経費を省く

## 三和振興(株)

### 「ありがたい姿」

- 1 指定管理料に頼らない自立した経営
- 2 お客様に安心感を持って頂き、地元上越に愛される会社

### 重点施策

- 1 少数精鋭の社員を中心としたオペレーションを行える体制を整え、社員全員がお客様を常に意識し、行動する。
- 2 年間売上目標・月間売上目標など、売上を常に意識した体制づくり
- 3 水道光熱費の削減など、徹底した無駄の排除に努めコスト意識を高める。
- 4 主任を中心に、定期的ミーティングを行い、意思疎通を図り社員の一致団結を深め、安定した経営を目指す。

## (株)ゆめ企画名立

### 「ありがたい姿」

- 1 人と人との絆が織り成す、日本一の「海の食彩リゾート」を目指す。

### 重点施策

- 1 うみてらす名立の名物作り(ブランディング)
- 2 顧客ニーズ研究に基づく商品企画造成
- 3 温かなおもてなしが伝わる雰囲気づくり
- 4 集客拡大に向けたホームページの作成
- 5 目標を達成できる組織作り

## II. 収支計画

令和元年度の売上計画は、前年度実績比 14,168 千円減の 38,788 千円であります。  
内訳は、当社プロパーで各社負担金収入 6,000 千円、手数料収入等 3,818 千円を見込み 9,818 千円、7つ屋で飲食部門譲渡益 8,300 千円、8月までの営業を見込み 20,670 千円であります。  
経費は、24,882 千円であり、その結果、経常利益は 6,167 千円であります。

### 第 7 期（令和元年度）収支計画

（単位:千円）

	第 7 期 令和 1 年度予算	同左 前年度比増減	部門別 当社プロパー	同左 7つ屋
売上	38,788	△14,168	9,818	28,970
売上総利益	30,858	△3,945	9,818	21,040
経費	24,882	△22,314	12,352	12,530
営業利益	5,976	18,369	△2,534	8,510
経常利益	6,176	17,642	△2,534	8,710